

Licom Systems

インストールマニュアル

Alphacam 2018R2



更新日: 2018/10/05

目次

目次.....	1
必要システム構成.....	2
要求仕様.....	2
オペレーティングシステム(OS).....	2
注意点.....	2
概要.....	3
インストールの流れ.....	3
Alphacam のインストール.....	4
前準備.....	4
Alphacam キータイプ.....	4
インストールの開始.....	4
自動再生メニュー.....	4
言語の選択.....	6
インストールウィザード.....	6
Alphacam の起動.....	7
スタンドアロンライセンスのインストール.....	8
CLS ライセンスの取得・更新.....	8
スタンドアロンライセンスの取得・更新.....	8
ネットワークライセンスのインストール.....	14
ライセンスサーバーのセットアップ.....	14
ライセンスのインストール.....	15
方法1 - WlmAdmin.exe を使う.....	15
方法2 - ライセンスマネージャを使う.....	15
クライアント PC のネットワークライセンス環境設定.....	16
クライアント PC の環境設定.....	17
重要事項.....	18

必要システム構成

要求仕様

- 64ビット Intel Xeon, Intel Core, AMD Athlon 64, AMD Opteron, AMD Phenom 以上, シングル, デュアル, クワッドコアバージョン
- 4GB メモリーを必要とします。バックグラウンド処理やマルチスレッド対応のため、オペレーティングシステムおよび各プロセッサにつき最低 2GB メモリーを推奨します。
- WHQL 認証で OpenGL3.3 のサポート。nVidia Quadro シリーズまたは AMD (ATI) FirePro シリーズ 128MB ワークステーショングラフィックカード (256MB 以上を推奨)
- 10GB 以上のハードディスク空き容量
- 17 インチカラーモニター (1280x1024 解像度)
- 2 ボタン Windows 互換マウス (ホイール付 2 ボタンマウス推奨)
- スペースマウス/スペースボール (オプション)
- ソフトウェアインストール用 DVD ドライブ
- ネットワークカード (ネットワークライセンスに対応するために TCP/IP が必要)
- Internet Explorer11 以上
- ライセンスアクティベーションおよび更新のためのインターネット接続環境
- Alphacam セキュリティキーのための USB ポート (キーレスライセンス以外の場合)

オペレーティングシステム (OS)

64ビット OS の必要があります。対応 OS は以下です。

- Microsoft Windows 7 Professional, Enterprise, Ultimate SP1
- Microsoft Windows 8.1 Professional, Enterprise
- Microsoft Windows 10 Professional, Enterprise

注) Windows 8 はサポートされていません。

注意点

- 対象 OS の最新サービスパックをインストールすることを推奨します。
- Alphacam は 64 ビット版しかありません。
- Alphacam とパートモデラーは Windows7 の Home にインストールは可能ですが、Home に限定された内容での不具合対応は保証できませんので、推奨しません。
- Sentinel RMS ライセンスサーバーはシステムサービスとして、Windows XP, Vista, Server 2003, Server2008, Server 2008 R2, Server 2012 及び Windows7 に対応しています。
- SafeNet Computer ID USB キーを使用している場合、Sentinel RMS ネットワークライセンスを仮想サーバーにインストールできます。スタンドアロン (単体) は仮想サーバーにご利用いただけません。
- これまでネットワークライセンスをご使用になっていたお客様は、クライアントで 2018R2 ライセンスの認識ができない可能性があります。その場合はライセンスサーバーをインストールしてバージョンアップを行ってください。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です

概要

このドキュメントは、ステップに沿った手順と Alphacam ソフトウェアおよび CLS ソフトウェアライセンスをインストールに関する情報を記載しています。

インストールの流れ

STEP 1

ソフトウェアのインストール

AlphaCAM 2018R2 をコンピュータにインストールします。

STEP 2

ライセンスのインストール

ご契約頂いたライセンスタイプ(スタンドアロン又はネットワーク)によってライセンスのインストール方法が異なります。

ライセンスタイプをご確認の上、インストールを実行してください。

- スタンドアロンライセンスにてご契約の場合 → P9～ を参照
- ネットワークライセンスにてご契約の場合 → P14～ を参照

STEP 3

クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスを使用する場合のみ、クライアント PC の環境設定が必要です。
スタンドアロンライセンスを使用する場合、この操作は不要です。

Alphacam のインストール

前準備

Alphacam をインストールする前に、この手順書を一読してください。

インストール前に、使用中のアプリケーションを全て終了してください。

アンチウイルスソフトウェアが実行されているとインストールに失敗することがあります。

ログインユーザーが管理者権限を持っていないとインストールに失敗することがあります。

WindowsUpdate を全て完了させてください。

Alphacam キータイプ



スタンドアロン・ネットワーク共用キー

USB キーを納入した場合、**不具合が生じる可能性があるため、インストールが完了して PC が再起動するまでは、絶対にセキュリティキーを USB ポートに装着しないでください。**

USB キーの納入がなく、旧バージョンの Alphacam からアップグレードする場合は、既存のキーをそのままご利用ください。**お手持ちの USB キーもインストールが完了して PC が再起動するまでは外しておいてください。**



USB キーの納入がなく、“キーレス”ライセンスを使用する場合は、この項目は関係ありません。



これらのキー(DES,HASP キー)はサポートされなくなりました。保守継続ユーザー様は最新のキーに無償交換いたします。ライコムシステムズ株式会社までご連絡ください。



インストールの開始

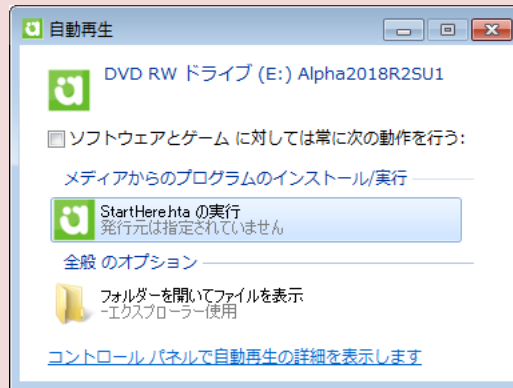
自動再生メニュー

Alphacam インストールディスクを PC のディスクドライブに挿入してください。ご使用中の PC が DVD の自動再生に対応している場合、数秒後に自動再生メニューが表示されます。



自動再生メニューが表示されない場合は、マイコンピュータを開き Alphacam ソフトウェアが挿入されているディスクドライブ内 **StartHere.hta** をダブルクリックしてください。メニューが起動されます。

または、以下のダイアログにて自動再生を確認された場合は、**StartHere.hta の実行**をクリックしてください。



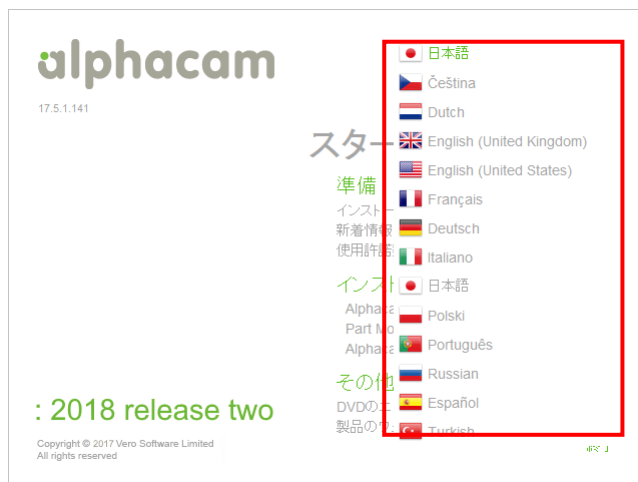
インストール手順 - このリンクをクリックすると、Alphacam インストール手順書を開きます。

- **新着情報** - このリンクをクリックすると、Alphacam 新機能のドキュメントを開きます。
- **Alphacam をインストール** - クリックすると Alphacam インストールウィザードを開始します。
- **Part Modeler をインストール** - クリックすると、Part Modeler インストールウィザードを開始します。
- **Alphacam Art をインストール** - クリックすると、Alphacam Art インストールウィザードを開始します。
- **アドインを参照** - クリックすると、Windows エクスプローラーにて Alphacam インストール DVD 内のエクストラアドインフォルダを開きます。このフォルダには AlpuaCUT など様々な Alphacam 製品が入っています。
- **製品ウェブサイト** - ここをクリックすると、Alphacam ホームページのメインページに接続します。
- **使用許諾契約書** - Alphacam エンドユーザのライセンス許諾書(www.alphacam.com/eula)を確認できます。

※PartModeler および Alphacam Art はオプションです。ライセンスを購入されていない場合はご使用になれません。

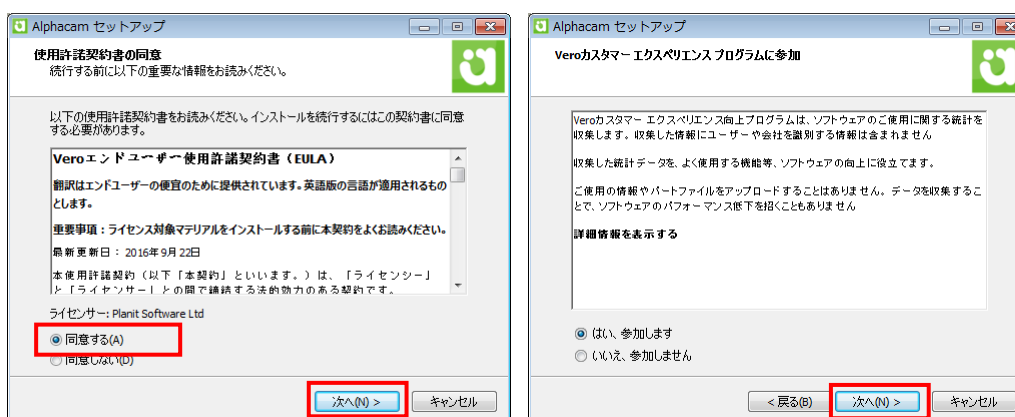
言語の選択

自動再生メニューに表示するメニュー及び Alphacam のインストール言語を、自動再生メニューの右上から選択してください。



インストールウィザード

Alphacam をインストールをクリックしてください。



ライセンス契約に同意後、次へをクリックし、継続してください。

カスタマーエクスペリエンスへの参加を設定します。この設定はインストール後にも変更できます。参加は任意です。

続いて、Alphacam ユーザーデータのインストール先を指定します。

ユーザーデータやユーザファイルの初期設定先は **C:\¥ Alphacam** です。LICOMDAT や LICOMDIR フォルダは指示したフォルダの下に自動的に作成されます。(例: **C:\¥Alphacam¥LICOMDAT** や **C:\¥Alphacam¥LICOMDIR**) 前バージョンの Alphacam がインストールされている場合は、既存の設定を参照します。

初期設定先は PC 上またはネットワーク上、どこにでも変更することができます。他の場所を設定する場合は、参照ボタンをクリックし、指定してください。次へをクリックし、選択されたパスを確認してください。



重要なデータの破損・損失を防止するために LICOMDAT と LICOMDIR フォルダは定期的にバックアップしてください。

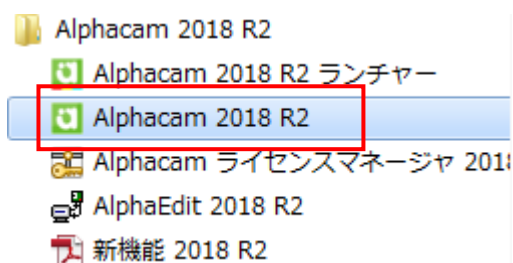


設定を確認し、「次へ」「インストール」をクリックします。

インストール完了後、再起動を促された場合は行ってください。

Alphacam の起動

インストールウィザード完了後（必要に応じて再起動後）Windows スタートメニューに **Alphacam - Alphacam 2018R2** フォルダが作成されます。そこから起動します。



これは Window7 の画面です。



ライセンスの設定をする前に Alphacam を立ち上げると、警告メッセージが表示され、自動的に GLS ライセンスマネージャが起動します。

スタンドアロンライセンスのインストール

CLS ライセンスの取得・更新



スタンドアロン CLS ライセンスはインターネットにて取得できます。インターネットが利用できない場合は、手順 6 を参照してください。



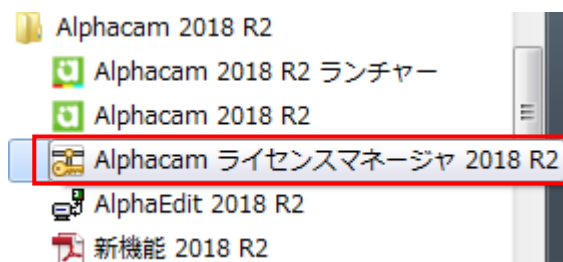
ライセンスを取得するには、予め PC に Alphacam をインストールしてください。



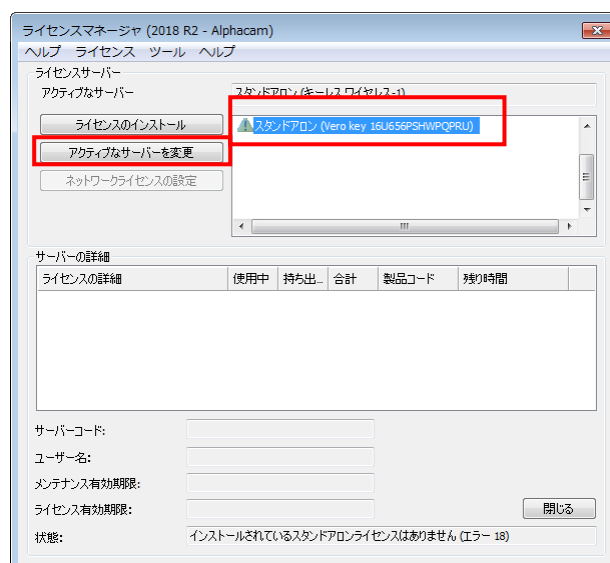
詳細は CLS ヘルプファイルを参照してください。

スタンドアロンライセンスの取得・更新

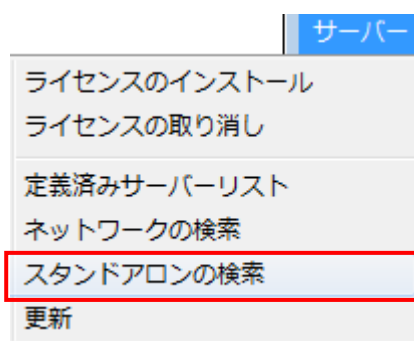
1. Alphacam USB キーを挿入してください。USB キーを購入していない場合は、2 に進んでください。
2. Windows のスタートからライセンスマネージャを起動してください。2018R1 バージョンからシステムトレイのアイコンはなくなりました。



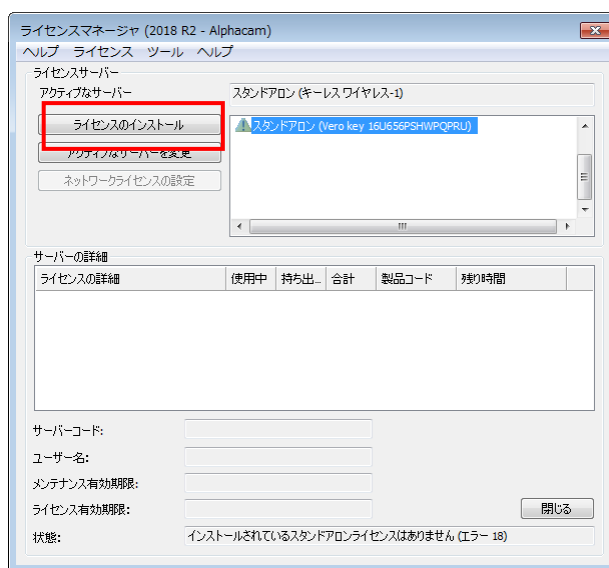
3. スタンドアロン(Vero key *****)と表示された項目をクリックし、アクティブなサーバーを変更をクリックします。



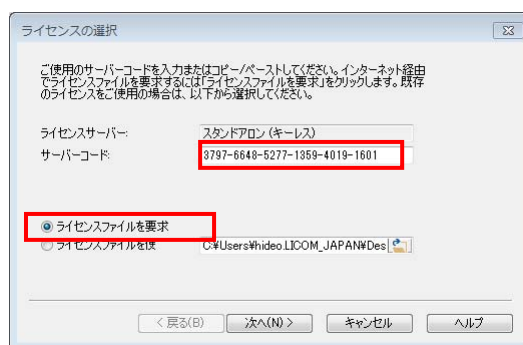
キーが表示されない場合は、サーバーメニューのスタンドアロンの検索をクリックします。



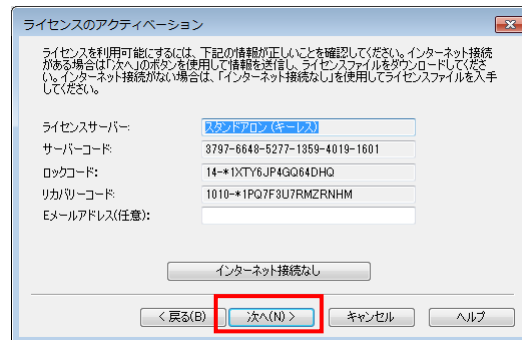
4. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。



5. デリバリーノートに記載されたサーバーコードを入力してください。ライセンスファイルを要求を選択し、次へをクリックしてください。



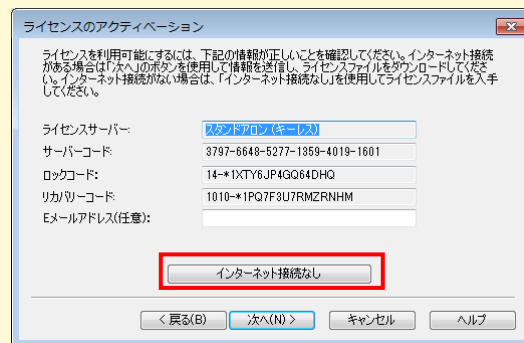
6. サーバーコードを確認し、E メールアドレスを入力してください(任意)。次へをクリックしてください。



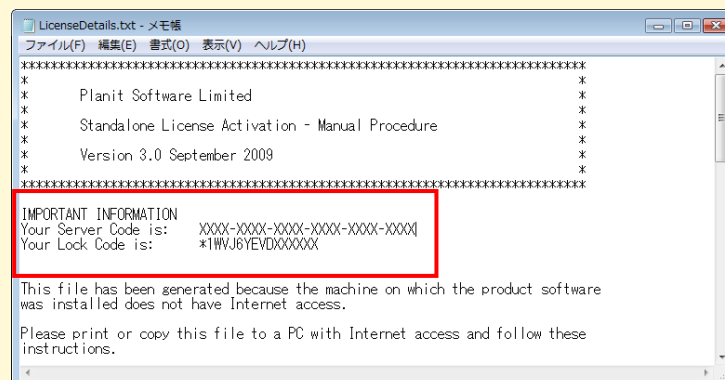
i インターネットが利用できない場合

インターネットに接続していない PC をご使用の場合は、下記方法を実行してください。ライセンスファイルを手元に入力されている場合は4から始めてください。

1. インターネット接続なし ボタンをクリックしてください。



2. メモ帳が立ち上がり、使用中のキー(dongle)のサーバーコード、ロックコードが表示されます。



ロックコードは 100 または 80 から始まる番号が表示されます。それ以外の場合は、キーが正しく挿入されていない可能性がありますので、今一度ご確認ください。

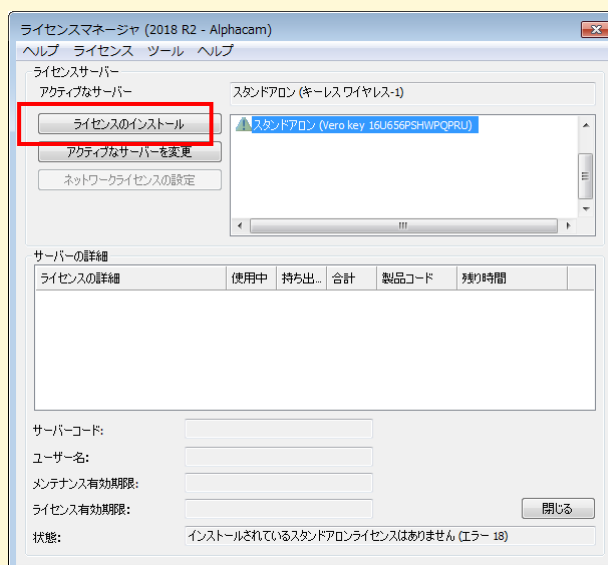
3. このテキストの内容(サーバーコード・ロックコード)をインターネット環境がある PC にて E メールして頂くか、インターネット環境がない場合はプリントアウトし FAX してください。

E-mail: support@licom.co.jp FAX: (076)439-0668

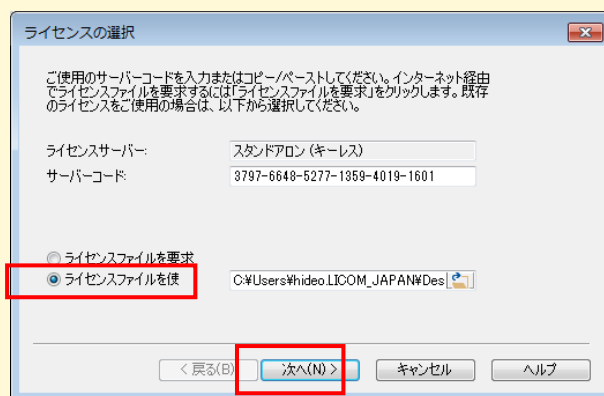
Eメールして頂いた場合は、個別にライセンスファイルをEメールにて返信致します。
 FAXして頂いた場合は、CDにて送付致します。
 (送付までに3~4日かかります。ご了承ください。)

※ライセンスファイルがお手元に届きましたら、ファイルを任意の場所に保存してください。

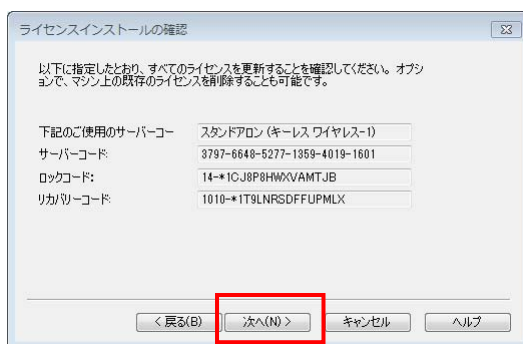
4. CLSアイコン上右クリックし、ライセンスマネージャを選択してください。
5. ライセンスマネージャ内のライセンスのインストールボタンをクリックしてください。



6. ライセンスファイルを使用を選択し、保存したライセンスファイルを選択し、次へをクリックしてください。



7. 次へ をクリックし、ライセンスのリクエストを適用してください。

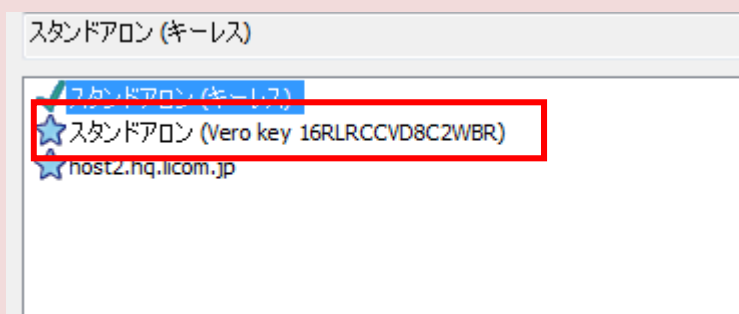


8. 成功すると、以下のメッセージが表示されます。

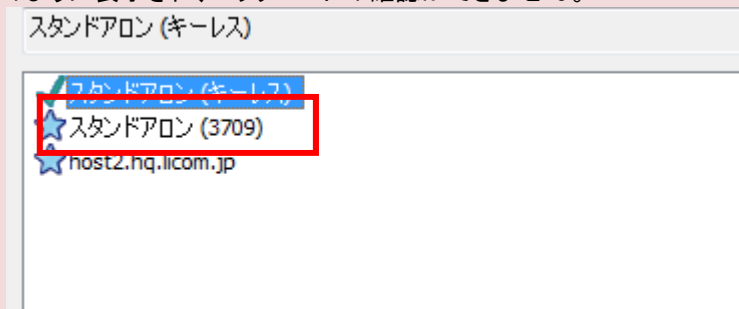


CLS ライセンスのインストールに失敗した場合

ライセンスインストール失敗の多くの原因はキーが認識されないことにあります。キーが認識されているか確認する方法を説明します。新しいタイプのキーでは、ライセンスマネージャの画面で以下のようにロックコードが表示されます。この位置に表示されないときは、キーが認識されていません。



古いキーでは以下のように表示され、ロックコードの確認ができません。



この場合はロックコードを確認する専用ツールを起動します。ツールは以下にインストールされています。
 C:¥Program Files¥Vero Software¥Alphacam バージョン¥CLS¥Utilities¥Generate Lock Code

このツールを使用すると、以下のようにロックコードが表示されます。

Generate Lock Code

Hostname: LICOMJ26.hq.licom.jp

Locking Method: Security Key 4

Lock code: 100-*1BW3SBFUK8SZVDZ

Recovery code:

Lock to Security Key

OK

キーのロックコードが表示されない場合は、ドライバをインストールします。

Sentinel USB キー DVD:¥Sentinel_RMS_Licensing¥Driver for Computer ID Key にあるセットアップを実行します。

ネットワークライセンスのインストール

ライセンスサーバーのセットアップ

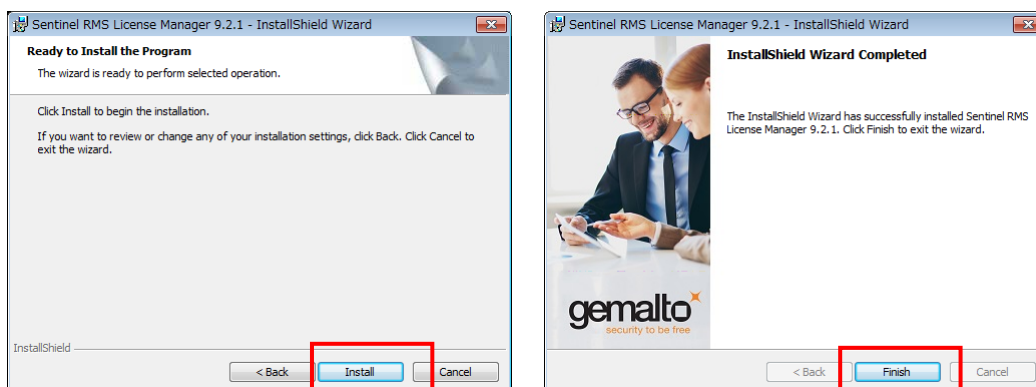
ネットワークライセンスを起動させるには、事前に Sentinel License Manager をネットワークサーバにインストールしておく必要があります。下記ステップに従い操作してください。ライセンスサーバーをインストールする PC は必ずしもサーバ OS の必要はありませんが、Alphacam を使用するときには動作している必要があります。

1. Alphacam インストール DVD を挿入し、Windows Explorer を使用してディスクドライブを参照してください。
2. Sentinel License Manager インストールウィザードを以下のどちらかの方法で開始してください。
方法 1) ディスクのルートフォルダ(例: D:\InstallLM.bat)にある InstallLM.bat ファイルをダブルクリック

方法 2) Sentinel_RMS_Licensing\License_Manager_Installation フォルダ
(例 D:\Sentinel_RMS_Licensing\License_Manager_Installation)にある setup.exe
ファイルをダブルクリック

ウィザードが開始されますの、指示に従ってライセンスサーバーのインストールをおこなってください。





ライセンスのインストール



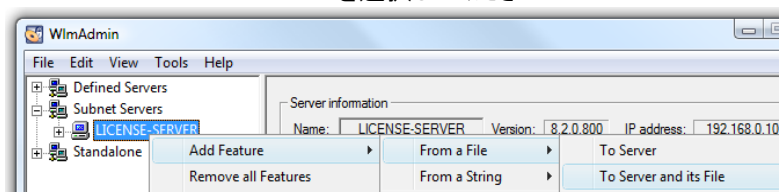
キーがサーバーに挿入されているか確認してください。

ライセンスサーバーにライセンスをインストールする方法は次の2通りあります。

- [方法1](#) – WlmAdmin.exe を使う
- [方法2](#) – CLS ライセンスマネージャを使う。

方法1 – WlmAdmin.exe を使う

1. インストール DVD で以下のファイルを実行してください：
 ¥Sentinel RMS Licensing¥Administer and Monitor¥wlmadmin.exe
 またはインストール先の次のフォルダから実行します。
 C:¥Program Files¥Vero Software¥Alphacam 2018 R2¥CLS¥Utilities¥Administer and Monitor
2. ダイアログが開いたら **Subnet Servers** の下からライセンスサーバーを選択してください。右クリックをし、**Add Features ▶ From a File ▶ To Server and its File** を選択してください。



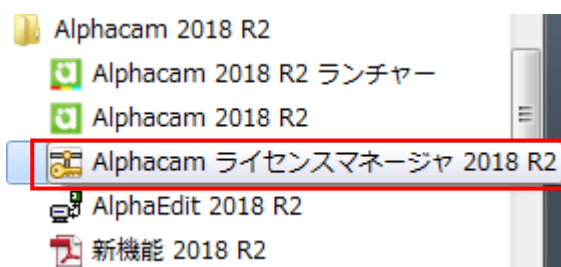
注意: 製品ライセンスは Sentinel RMS™ のデータを参照しています。

3. 保存したライセンスファイル確認して、**OK** をクリックしてください。
 各ライセンスの確認ダイアログが表示されるので **OK** をクリックしてください。

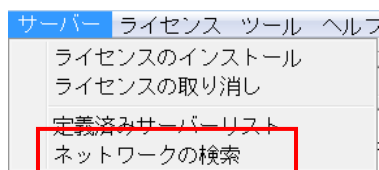
方法2 – ライセンスマネージャを使う

サーバーかクライアント PC (Administrator Model が有効な) にインストールされた CLS からライセンスをインストールできます。

1. Windows のスタートからライセンスマネージャを起動します。



2. サーバー メニューのネットワーク検索 をクリックし、Sentinel RMS サーバーのリスト出してください。接続したいサーバーを選択し、アクティブなサーバーを変更 をクリックしてください。希望のアクティブサーバーに変更されたかを確認し、ダイアログを閉じてください。



3. リスト上に表示されたサーバーから使用したいサーバーを選択し、ライセンスのインストール ボタンをクリックしてください。
4. 表示されたダイアログには、インターネット経由でライセンスファイルを要求するか、すでにダウンロードしたかメールで受け取ったファイルを使用する選択オプションがあります。

インターネット経由でライセンスファイルを要求には

1. サーバーコード を入力（タイプかコピーとペースト）し、次へ をクリックしてください。
2. ライセンスファイルを要求 をクリックし、インターネット経由で Vero サーバーからライセンスファイルを要求します。
3. 確認ダイアログで、詳細が正しく表示されているかを確認し、次へ をクリックしてください。

納入したライセンスファイルをインストールするには

1. サーバーコード を入力（タイプかコピーとペースト）し、次へ をクリックしてください。
2. ライセンスファイルを使用 をクリックしてください。
3. ライセンスファイルを選択します（ライセンスファイルは <servercode>.one, と名前が付いています。例えば、1234-4567-1234-4567-1234-4567.one）
4. 次へ をクリックしてください。
5. 確認のダイアログで、完了 をクリックしインストールを完了してください。

ライセンスはインストールされ、使用する準備ができました。

サーバーとライセンスのインストールが完了しました。これで、[クライアント PC の環境設定](#)の準備ができました。

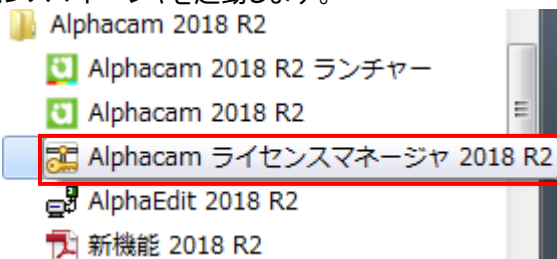
クライアント PC のネットワークライセンス環境設定

ネットワークライセンスサーバーを設定後、（上項目[ネットワークライセンスインストール](#)参照）クライアント PC は以下の環境設定をしてください。

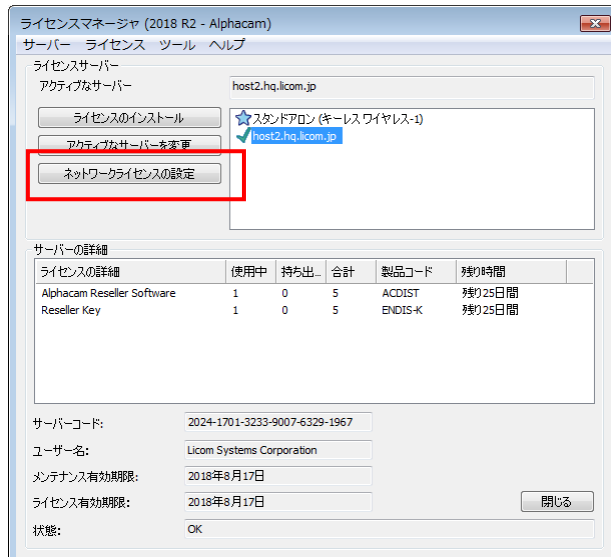
i 詳細はインストール DVD 内 Sentinel_RMS_Licensing¥Quick Reference Guides¥ network_SetUpLicenseServer.pdf を参照してください。

クライアント PC の環境設定

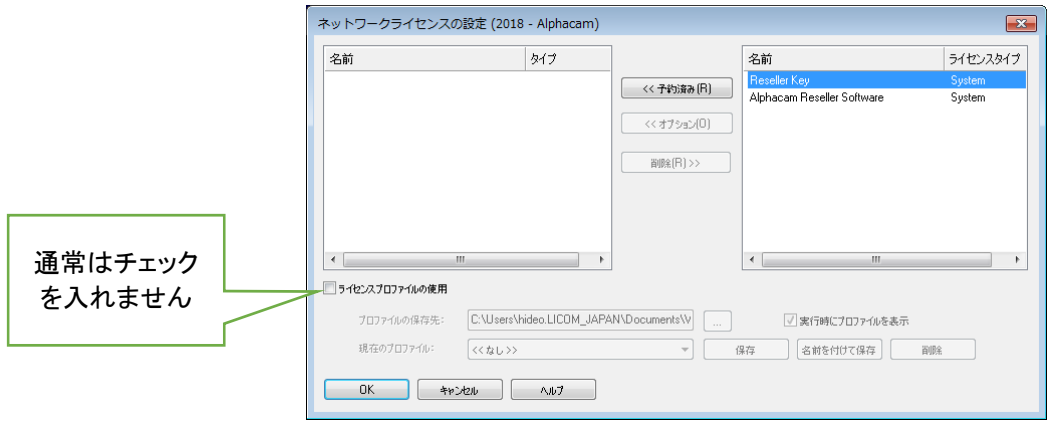
1. Windows のスタートからライセンスマネージャを起動します。



2. ダイアログが開くので、サーバーメニューからネットワークの検索 をクリックしてください。すると、Sentinal RMS サーバーの一覧が表示されます。
3. 接続したいサーバーを選択し、アクティブなサーバーを変更 をクリックしてください。
4. アクティブなサーバーが希望通りか確認し、ダイアログを閉じてください。
5. ネットワークライセンスの設定 ボタンをクリックして表示されるダイアログが選択したサーバーで有効なライセンスのリストを表示します。もしダイアログが表示されない場合はCLSメニューから ネットワークライセンスの設定 オプションを選択してください。



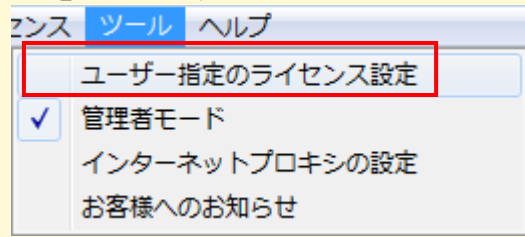
6. クライアント PC の設定をします。ダイアログ右側にリストアップされるシステムライセンスをクリックしてください。 <<予約済み をクリックしてください。左側のリストには、クライアント PC 用に選択したライセンスが表示されます。



7. 他に必要なライセンスを選択し、OK をクリックしてください。
8. Alphacam インストールがライセンス認証され、使用する準備ができました。

i これらのライセンスは”仮選択”されている状態です。サーバー上のライセンスに空きがないと、実際にソフトウェアを起動することができません。

i この設定はログインしているユーザーだけの設定です。別のユーザーでログインすると同様の設定を行う必要があります。ログインするユーザーに関係なく全ユーザーで同一の設定を指定する場合は「ユーザー指定のライセンス設定」のチェックをオフにします。



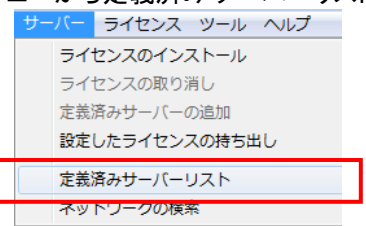
重要事項

- **Alphacam がライセンスサーバーを検出できなかった場合**、以下のいずれかの方法でライセンスサーバー名をセットしてください。

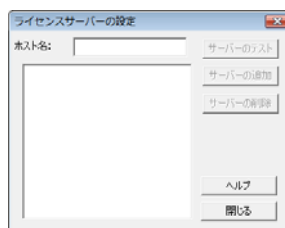
! 以下の手順は、Alphacam を使用する PC に対して行う操作です。Sentinel License Manager 起動中の PC ではありませんので、注意してください

方法 1

1. ライセンスマネージャのサーバーメニューから定義済みサーバーリストを選択してください。



2. ホスト名または IP アドレスを入力し、サーバーのテストをクリックします。成功したら、サーバーの追加をクリックします。



方法 2

1. Alphacam (License Manager ではなく) が起動されている PC の環境変数に変数 LSHOST を追加します。
2. この変数には、サーバー名または License Manager サーバーの IP アドレスを設定します。(例えば、SERVER_NAME または 192.168.1.100)

この変数の設定に関しては、貴社のシステム管理者または Alphacam 技術サポートまでお問い合わせください。

方法 3

1. LSHOST という名前の新しいテキストファイルを作成します。サンプルファイルが Alphacam インストールディスクの **Sentinel_RMS_Licensing¥Sample LSHOST File** フォルダの中に入っています。
 2. LSHOST ファイルを(例 メモ帳などで)編集し、ファイルの先頭行にライセンスマネージャサーバーの名前もしくは IP アドレス(例 SERVER_NAME または 192.168.0.100)を入力します。
 3. LSHOST ファイルを保存して閉じます。
 4. LSHOST ファイルを **C:¥Program Files¥Common Files¥VeroSoftware¥(バージョン名)¥CLS** にコピーもしくは移動します。
- どちらの方法でも、複数サーバーをご使用の場合は、各サーバーに名前を付けることができます。それぞれの名前は「:」シMBOLのセパレータで(例 SERVER_ONE:SERVER_TWO など)区切ってください。Alphacam はリスト中のライセンスサーバーを先頭から順に試します。
 - Windows ファイアーウォールが有効になっているとネットワークライセンスの認識ができないことがあります。TCP/IP のポート番号 5093 を通すように設定してください。
 - 詳しい CLS ライセンス手順に関しては、AlphacamDVD の **Sentinel_RMS_Licensing¥Quick Reference Guides** を参照してください。